

2023年3月期 第3四半期

決算説明会資料

2023年2月21日

オカダアイオン株式会社

(東証プライム市場 6294)

- 1. 会社概要／当社の歩み**
2. 2023年3月期 第3四半期
業績概要と通期見通し
3. トピックス
4. 参考資料

会社概要 (22/3月末現在)

業 務 内 容

解体・破砕用建設機械及び林業機械の製造、販売、修理

創 業

1938年7月
(設立1960年)

資 本 金

2, 221
百万円

売 上 高

20, 306
百万円

拠 点 数

国内 22
海外 6

本社外観 (大阪市港区)



グループ会社

- (株)アイオンテック
～主力商品組立工場～
- 南星機械(株)
～林業機械等製造/販売
- オカダアメリカ
- オカダヨーロッパ

連結従業員数

459名

当社主力製品（解体アタッチメント）



コンクリート建物を解体する時に、油圧ショベルの先端に取り付けて使う解体専用アタッチメント

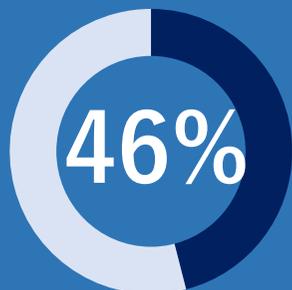


油圧ショベル

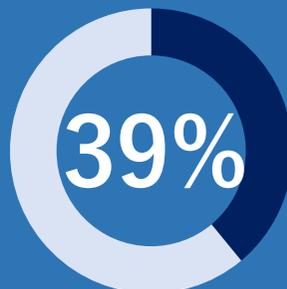
主力製品の国内シェア **No.1**



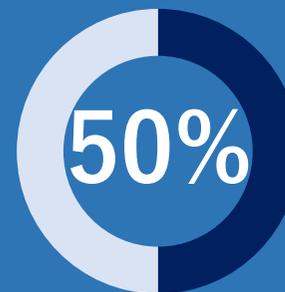
大割機



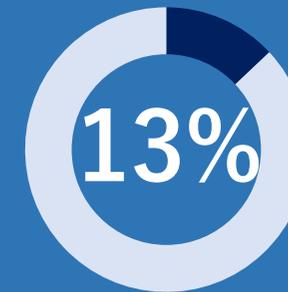
小割機



鉄骨カッター



油圧ブレーカ



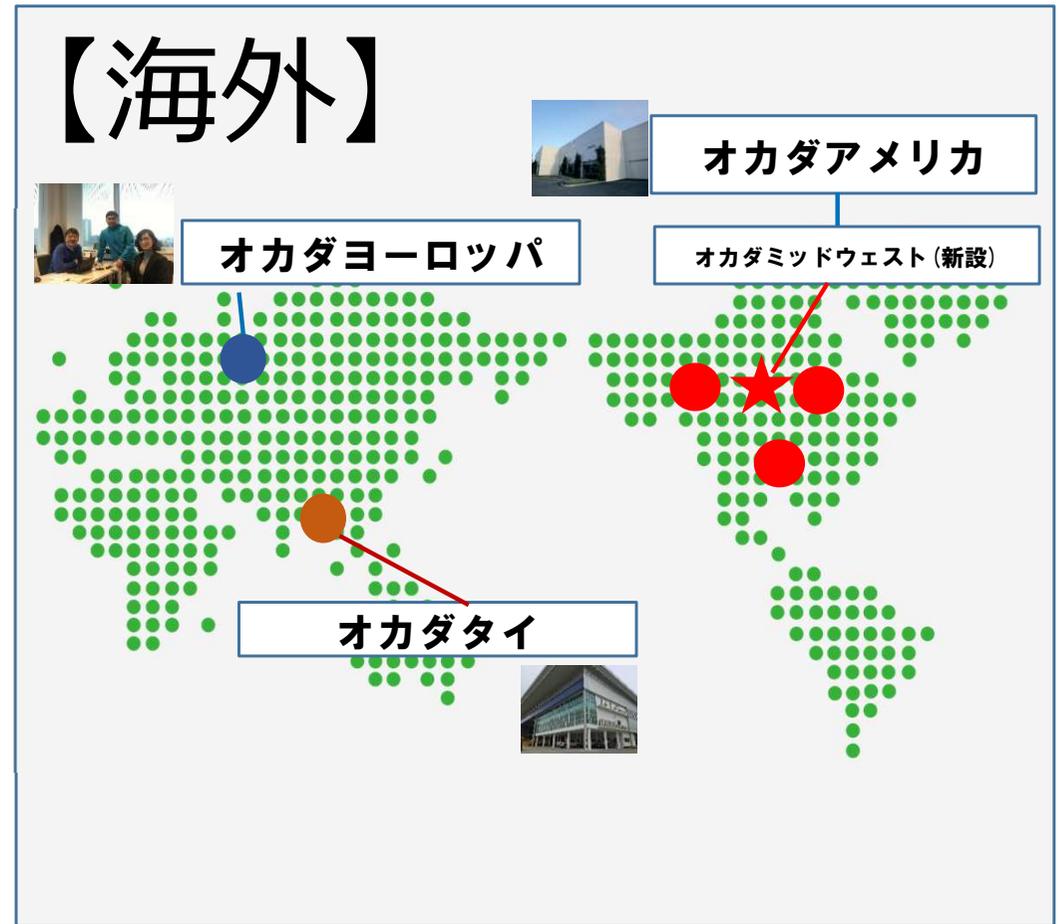
拠点

【国内】



- オカダアイオン 12拠点
- アイオンテック 1拠点
- 南星機械 9拠点

【海外】

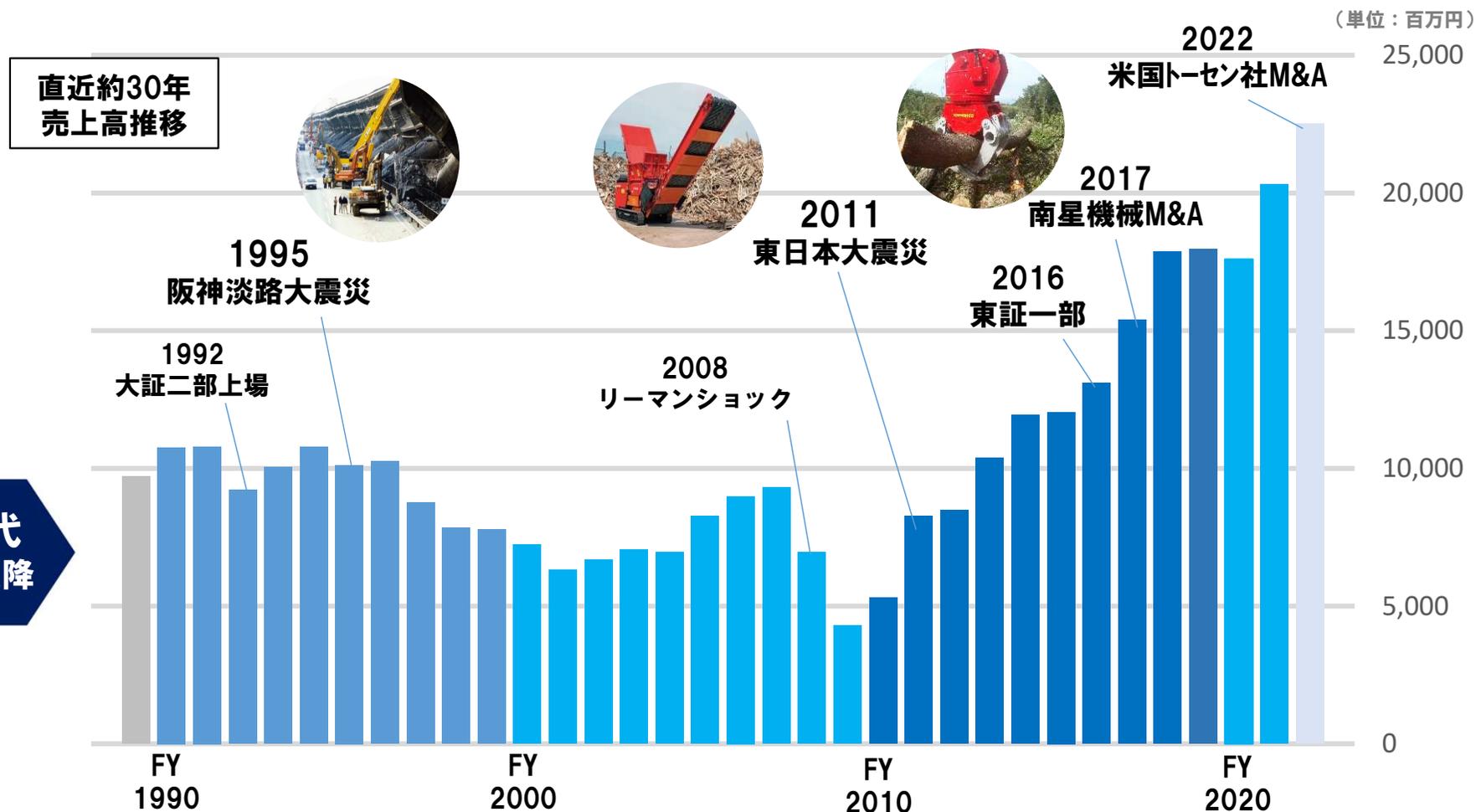


- オカダアメリカ 4拠点 (本社/オレゴン)
- オカダヨーロッパ 1拠点 (本社/オランダ)
- オカダタイ 1拠点 (本社/アユタヤ)

当社の歩み



**鑿岩機から都市解体需要まで、
解体用アタッチメント開発・販売を中心に成長してきました**



1990年代
以降

1. 会社概要／当社の歩み
- 2. 2023年3月期 第3四半期**
業績概要と通期見通し
3. トピックス
4. 参考資料

業績サマリー(2023年3月期 第3四半期)



売上高

17,000百万円
(前年比+15.7%)

営業利益

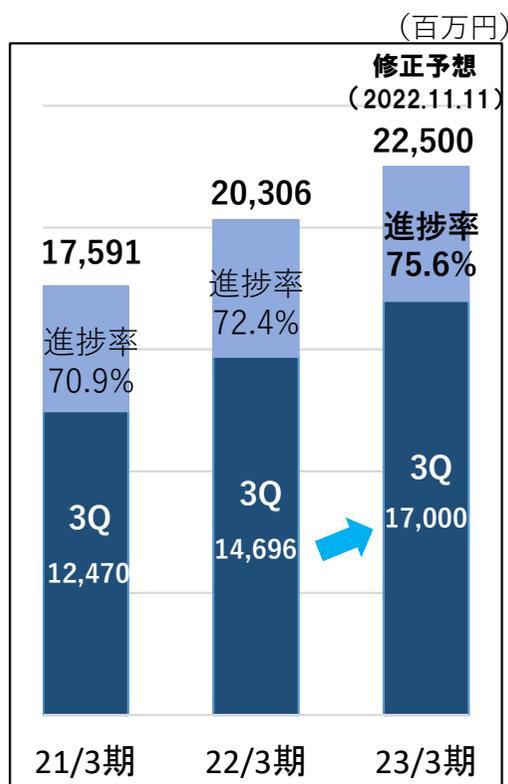
1,475百万円
(前年比+9.2%)

経常利益

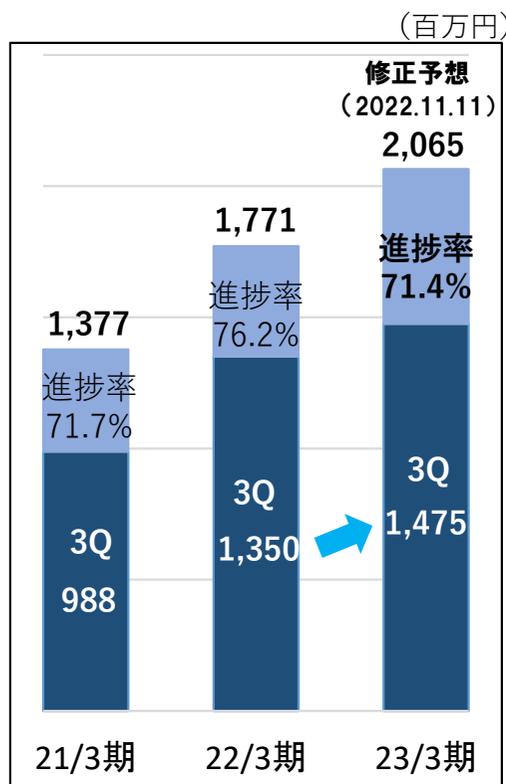
1,467百万円
(前年比+7.8%)

四半期純利益

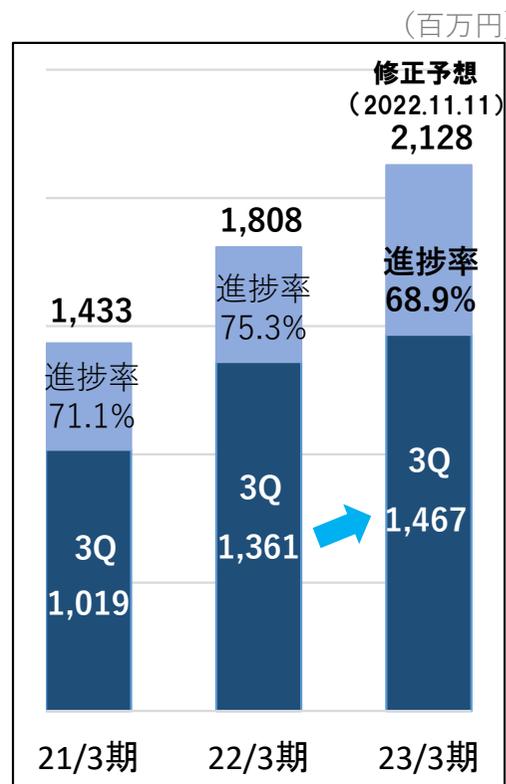
983百万円
(前年比+15.3%)



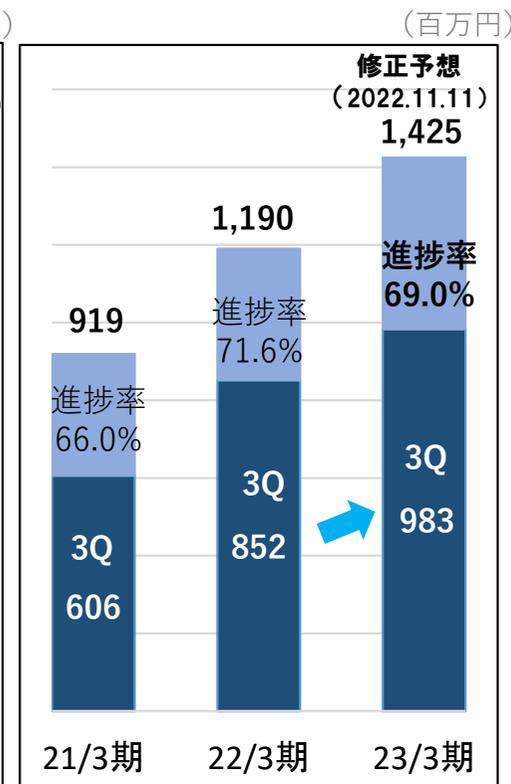
【売上高】



【営業利益】



【経常利益】



【当期純利益】

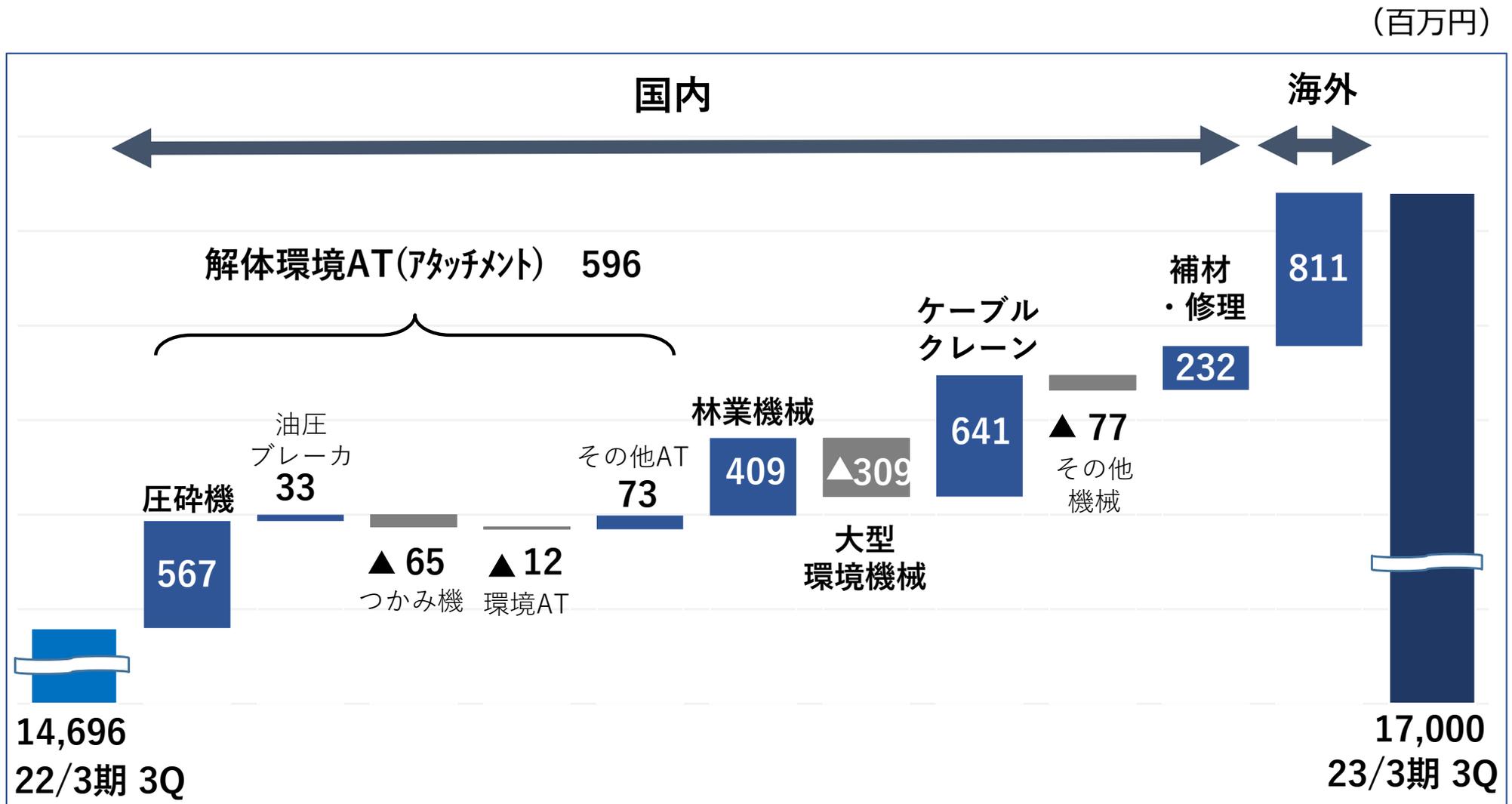
2023年3月期第3四半期業績及び通期見通し

- 第3四半期までの過去最高売上・最高利益を更新。
- 2023年3月期通期見通し（11月11日修正値公表）に変更はありません。（百万円）

	22/3期 3Q実績	23/3期 3Q実績	前年同期比		23/3期 見通し <small>(22/11/11 修正値公表)</small>	進捗率 (%)
			増減 (額)	増減 (%)		
売上高	14,696	17,000	2,304	15.7	22,500	75.6
売上総利益	4,295	4,925	630	14.7	—	—
販売費及び 一般管理費	2,944	3,450	505	17.2	—	—
営業利益	1,350	1,475	124	9.2	2,065	71.4
経常利益	1,361	1,467	105	7.8	2,128	68.9
四半期純利益 <small>(当社株主帰属)</small>	852	983	130	15.3	1,425	69.0

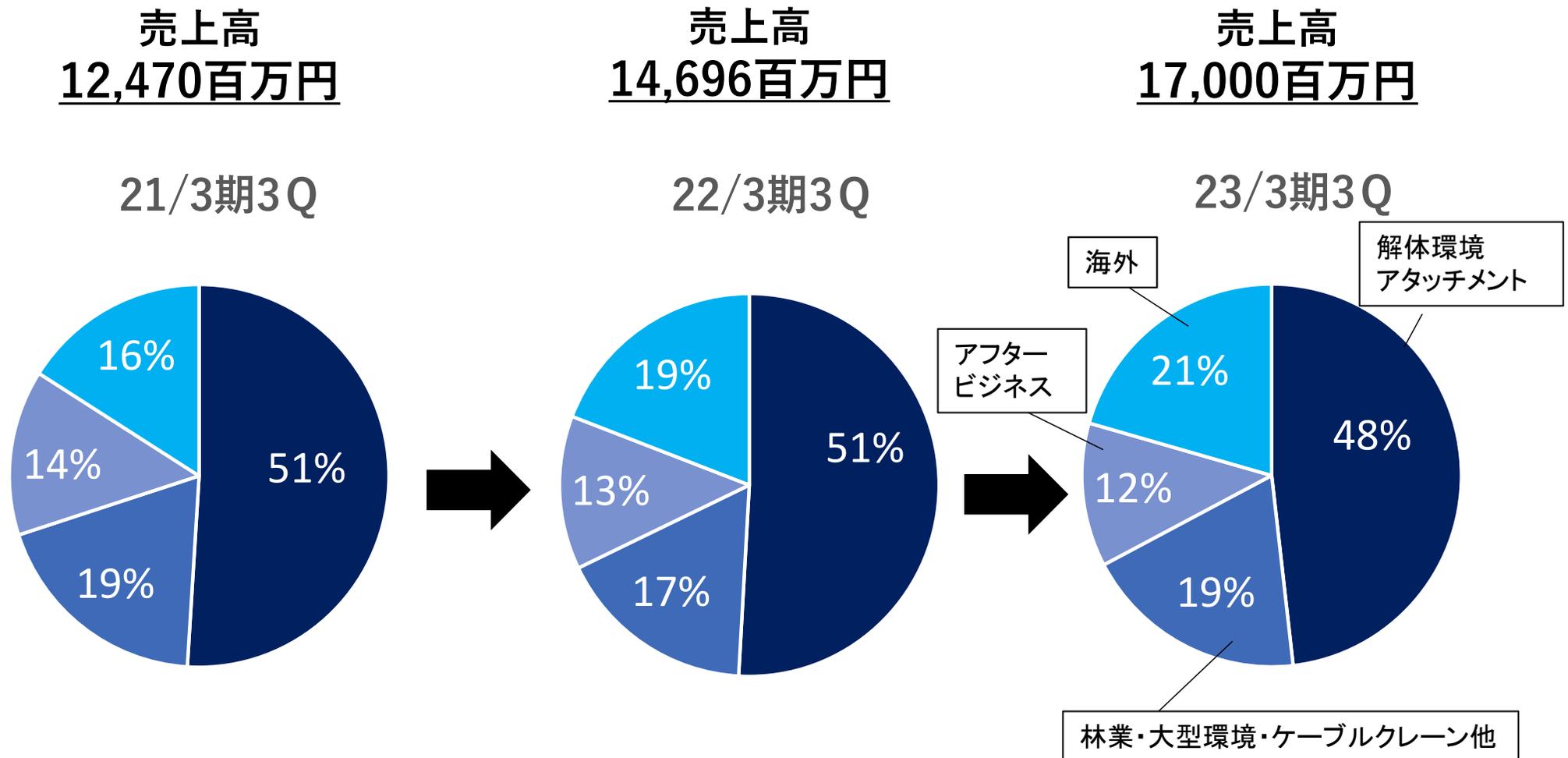
売上高増減要因

- 国内は、圧碎機の需要好調やケーブルクレーンの大型受注等が寄与し増収。
林業は新製品効果で増収だが、輸入商材の大型環境機械は納期長期化が影響し減収。
- 海外は、欧州の市場開拓が進む他、北米、アジアも伸び増収。



セグメント・事業別売上概要（3Q推移）

- 4 事業区分すべてで売上高増加。海外売上比率が徐々に上昇。
※各セグメント明細はP12機種別売上推移参照



機種別売上（3Q推移）

（百万円）

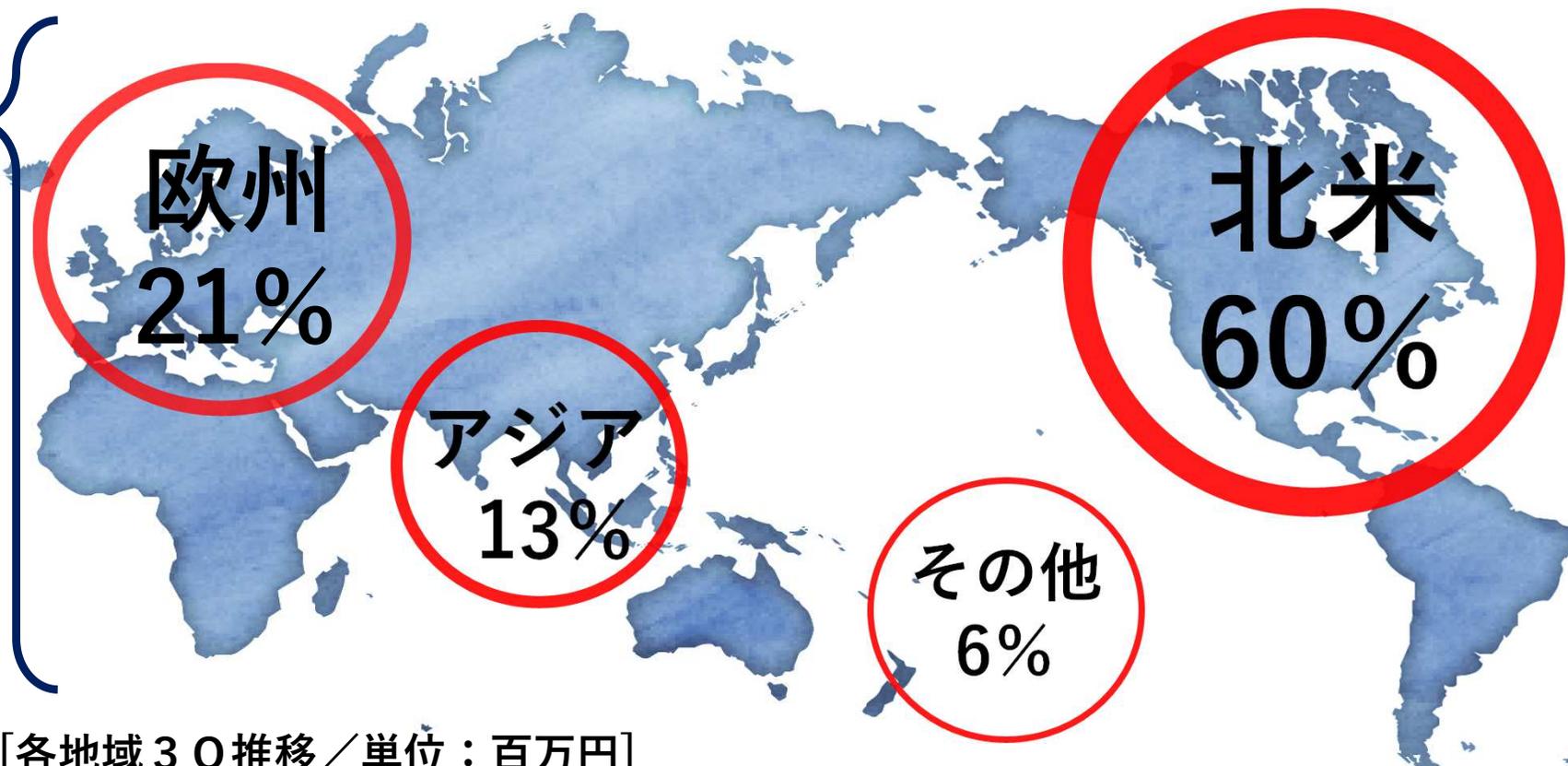
			21/3期 3Q	22/3期 3Q	23/3期 3Q	前期比		前々期比	
						金額	増減(%)	増減(%)	
国内	解体環境 アタッチメント	圧碎機	3,925	4,879	5,447	567	11.6	38.8	
		油圧ブレーカ	575	668	701	33	5.0	22.0	
		つかみ機	781	928	863	△65	△7.0	10.4	
		環境アタッチメント	472	428	415	△12	△3.0	△12.0	
		その他アタッチメント	554	641	715	73	11.4	28.9	
		計	6,309	7,546	8,143	596	7.9	29.1	
	環境機械 他	林業・大型	林業機械	478	575	984	409	71.2	105.9
			大型環境機械	670	525	216	△309	△58.8	△67.7
			ケーブルクレーン	824	970	1,612	641	66.1	95.6
			その他機械	407	428	351	△77	△18.0	△13.9
		計	2,381	2,500	3,164	664	26.6	32.9	
	アフター ビジネス	補材 修理	補材	1,179	1,248	1,398	149	12.0	18.6
			修理	579	628	710	82	13.1	22.6
		計	1,759	1,877	2,109	232	12.4	19.9	
		国内セグメント計	10,450	11,924	13,417	1,492	12.5	28.4	
海外	米国地域		1,313	1,624	2,162	538	33.1	64.6	
	欧州地域		340	540	746	206	38.2	119.2	
	アジア地域（中国含まず）		331	403	453	49	12.3	37.0	
	その他		34	203	220	17	8.5	531.8	
		海外セグメント計	2,020	2,771	3,582	811	29.3	77.4	
連結計			12,470	14,696	17,000	2,304	15.7	36.3	

海外 地域別売上構成(2023/3月期 3 Q)

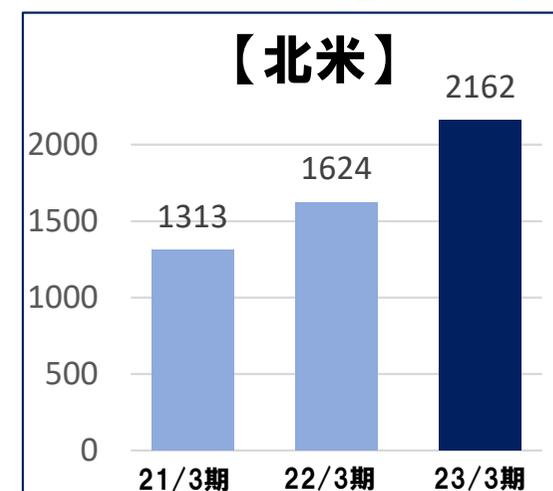
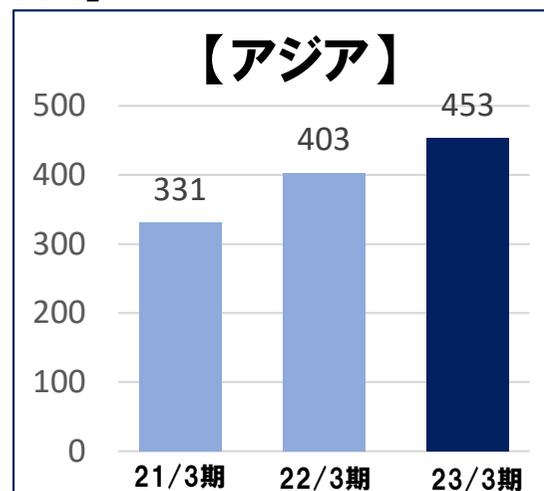
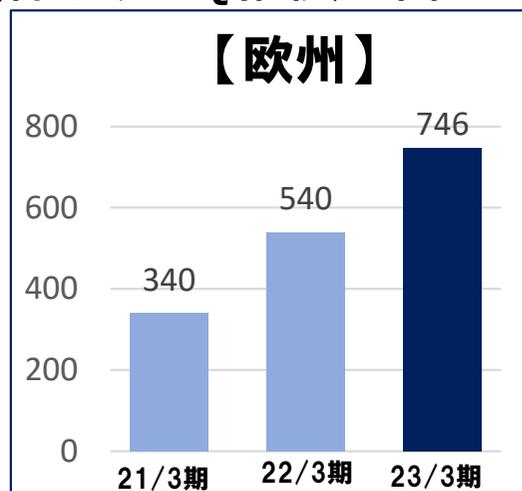
(販売構成)

海外
21.1%

国内
78.9%



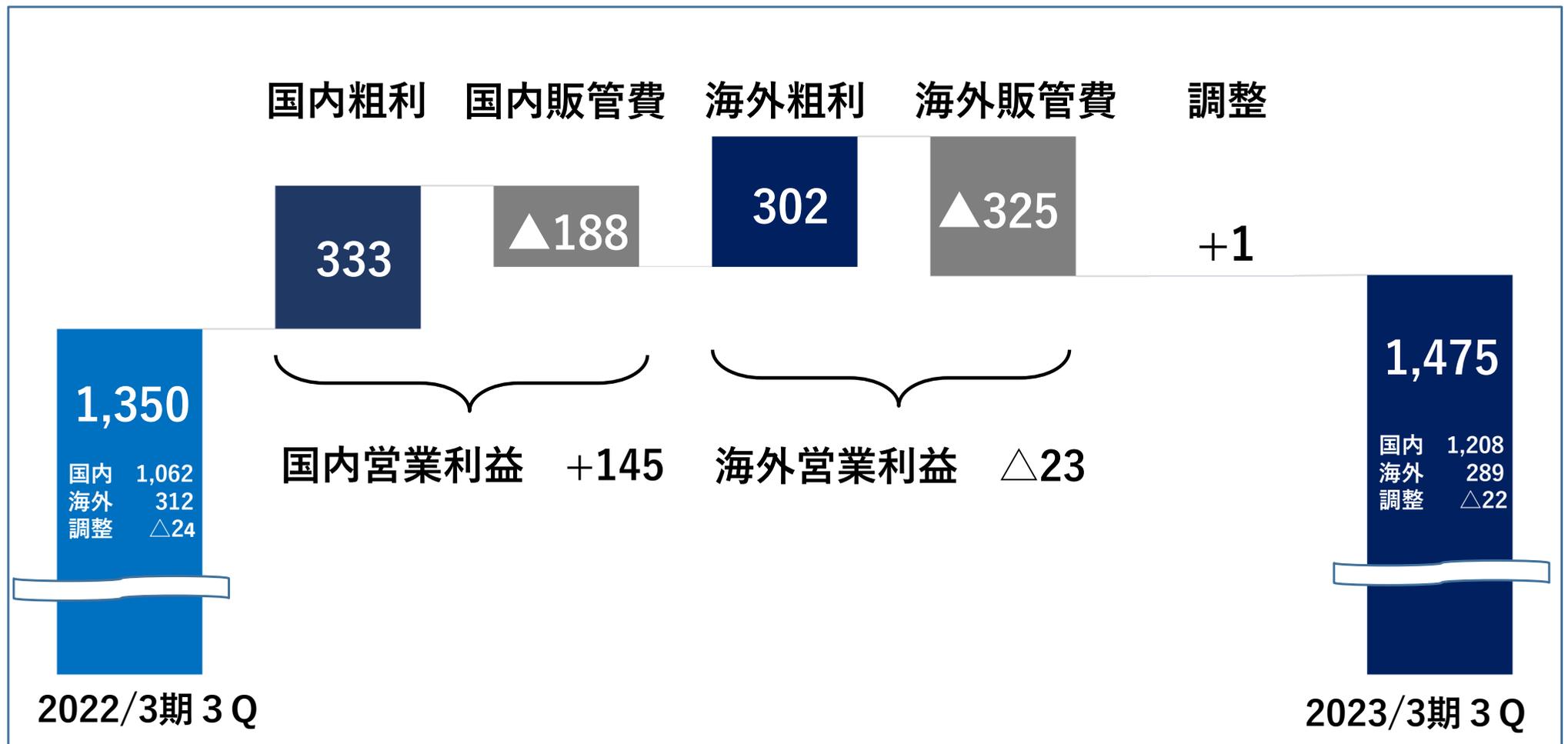
[各地域 3 Q 推移 / 単位：百万円]



営業利益増減要因

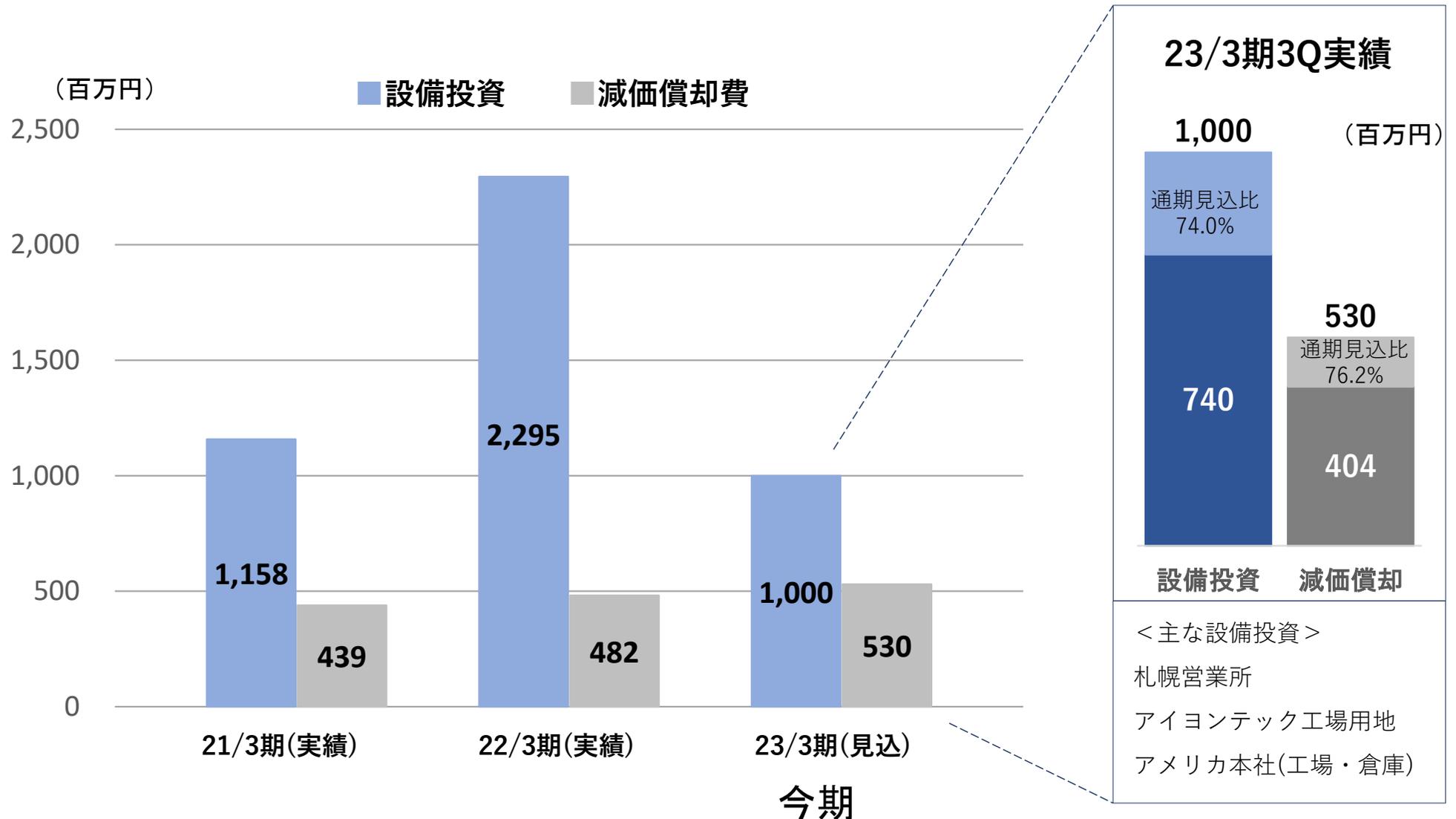
- 国内は、圧碎機、ケーブルクレーン等の売上好調により増益。
- 海外は、北米・欧州・アジアの3地域で売上が順調に増加し粗利は増加したが、一過性の北米M&A費用計上に加えて、前年の米国PPP(給与保護プログラム)の下支え消え減益。

(百万円)



設備投資・減価償却費計画

- アタッチメント大型化に対応した国内の営業・メンテナンス拠点のリニューアルは今期で目途。
- アメリカ新本社（工場・倉庫）は今春完成。また、日本国内では増産に向け製造工場を拡張中。

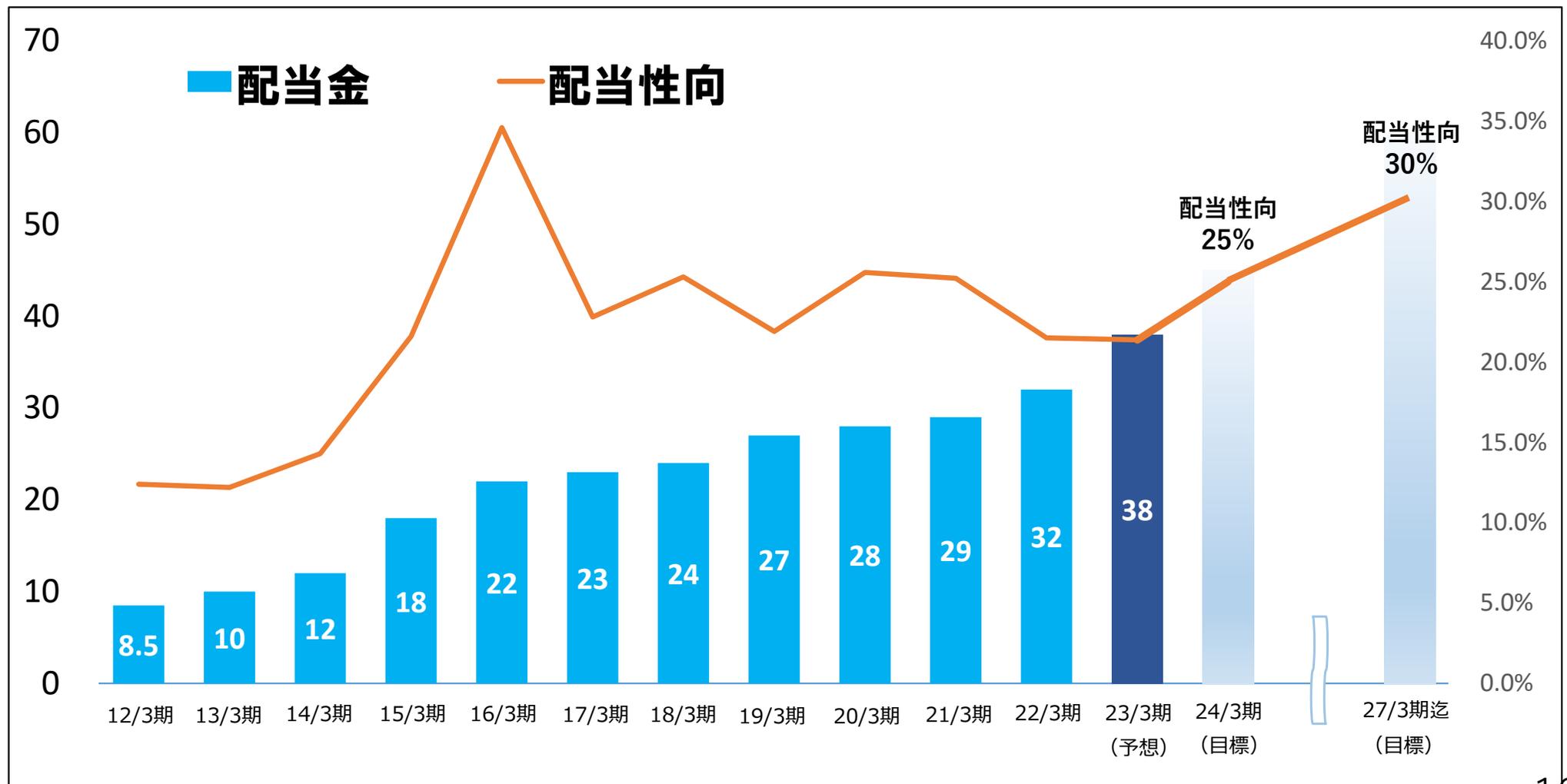


株主還元／配当実績と計画

- 累進的配当方針のもとで増配を継続。今後は成長投資を行いつつも、配当性向を段階的に引き上げる。（2024/3月期迄に25%、その後3年以内に30%を目標とする。）
- 13年連続増配となる年間38円配当（前期比+6円）を予定。

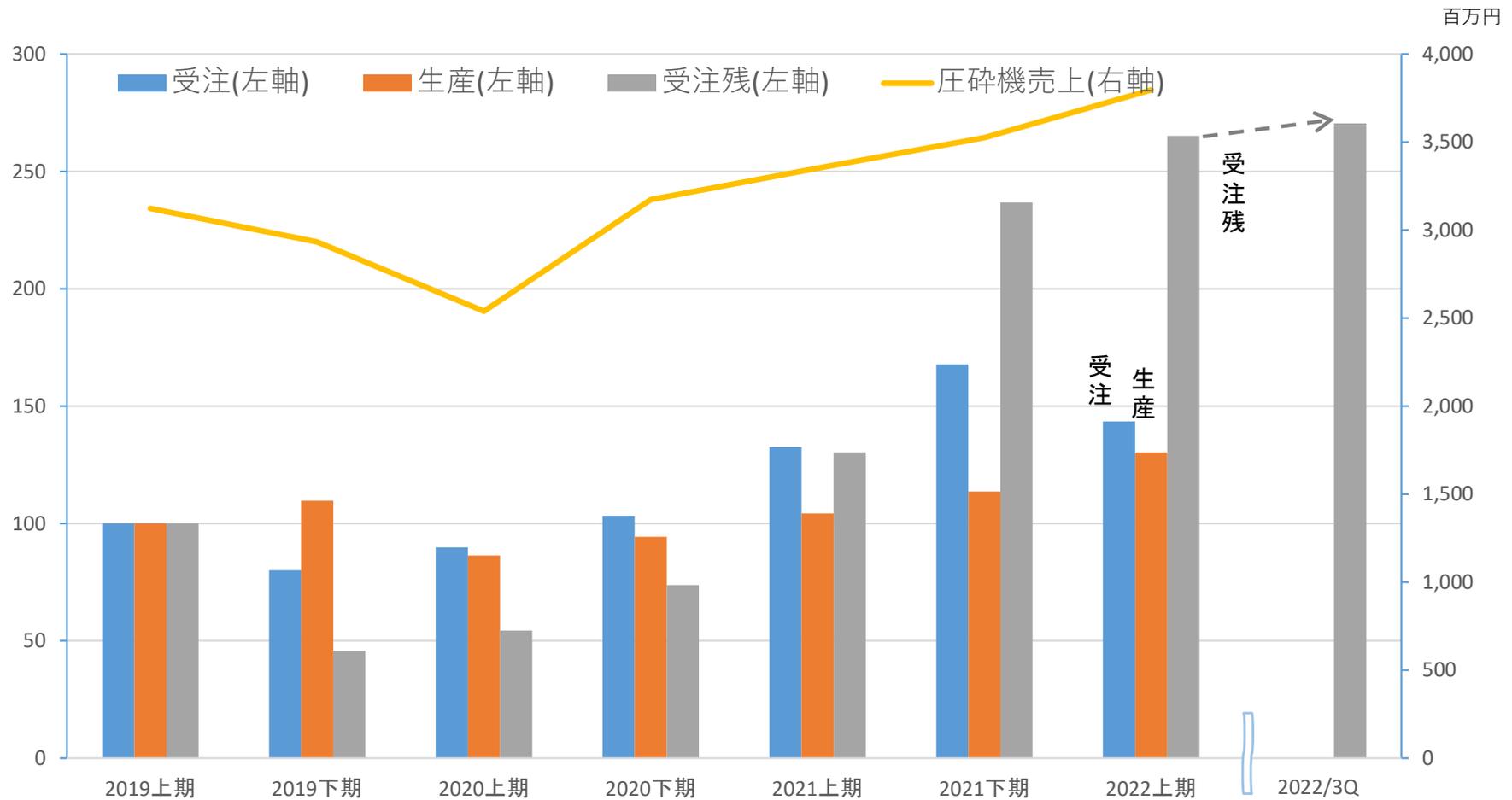
(配当金：円)

(配当性向：%)



1. 会社概要／当社の歩み
2. 2023年3月期 第3四半期
業績概要と通期見通し
- 3. トピックス**
4. 参考資料

- 主力商品 圧砕機は、旺盛な受注を生産台数の伸びで対応し増収傾向が続く。3Qまでの圧砕機売上高はP12に記載の通り、前年比11.6%増、前々年比38.8%増。
- 圧砕機の受注残は、2023年3Q(12月末)も2Q(9月末) 対比やや増加。
アイオンテック朝霞工場への設備投資や製造協力会社の生産性向上にて対応中。



※ 受注・生産・受注残は2019年上期を100として指数化

トピックス 林業機械ラインナップ

- オカダハイブリッドバケットの販売好調により林業機械の売上大幅増(前年比71.2%増)に貢献。
- 2024年度より導入される森林環境税を見据え、ラインナップ強化により需要増へ対応。

OHB-120 (12トクラス油圧ショベル装着用)

森林作業道作り



～ラインナップ化～

来月12月発売予定
OHB-200 (20トクラス装着用)

来春発売予定
OHB-60 (6トクラス装着用)

● オカダハイブリッドバケットの特長

1台で森林作業道作りの4工程に対応／省人化・効率化を実現



【伐採】



【運搬】



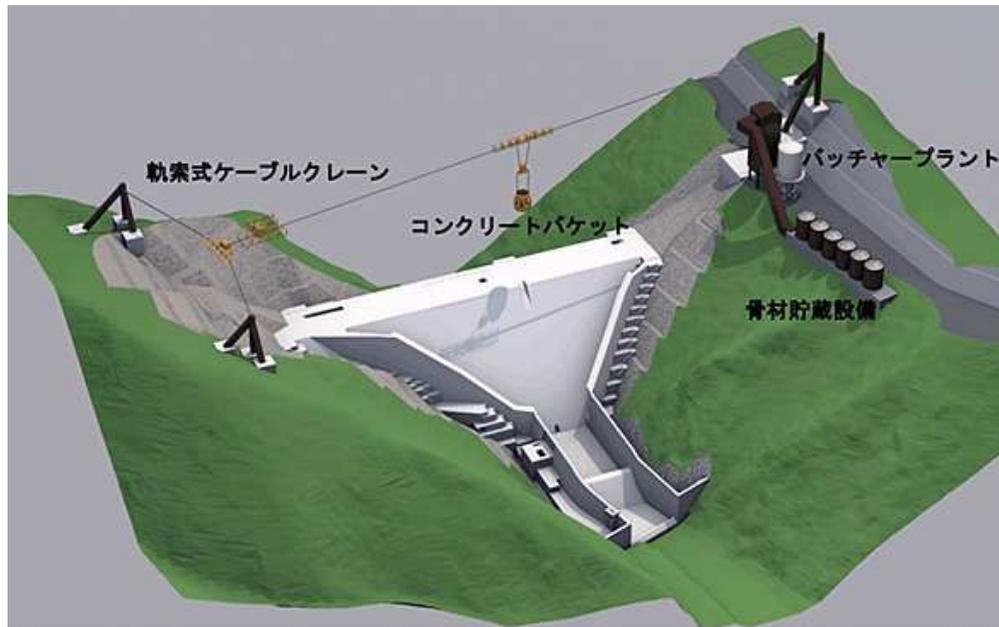
【除根・埋め戻し】



【斜面の整形】

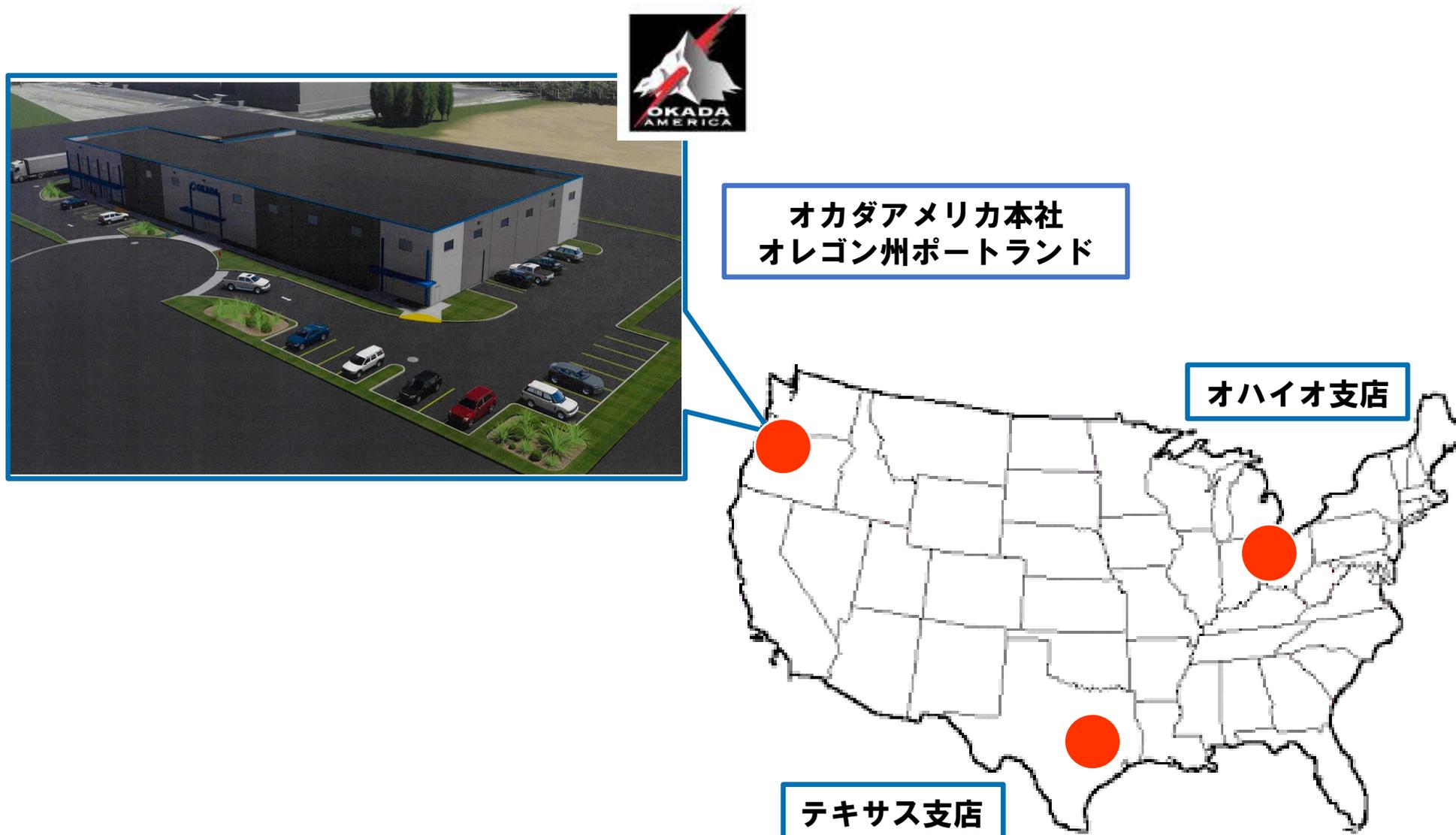
トピックス ケーブルクレーンについて

- ダム・水力発電所改修需要により、ケーブルクレーンは前年比66.1%増。
- 用途 / ケーブルクレーンは、ダムの両岸に鉄塔を立て、ダムをまたぐようにしてケーブルを張り、荷物を運搬する機械装置。ダム建設の際は、生コンクリートを入れたバケツトや資材をケーブルに吊り下げ重量物を運搬。水力発電所改修時には、鉄管の交換に使用。



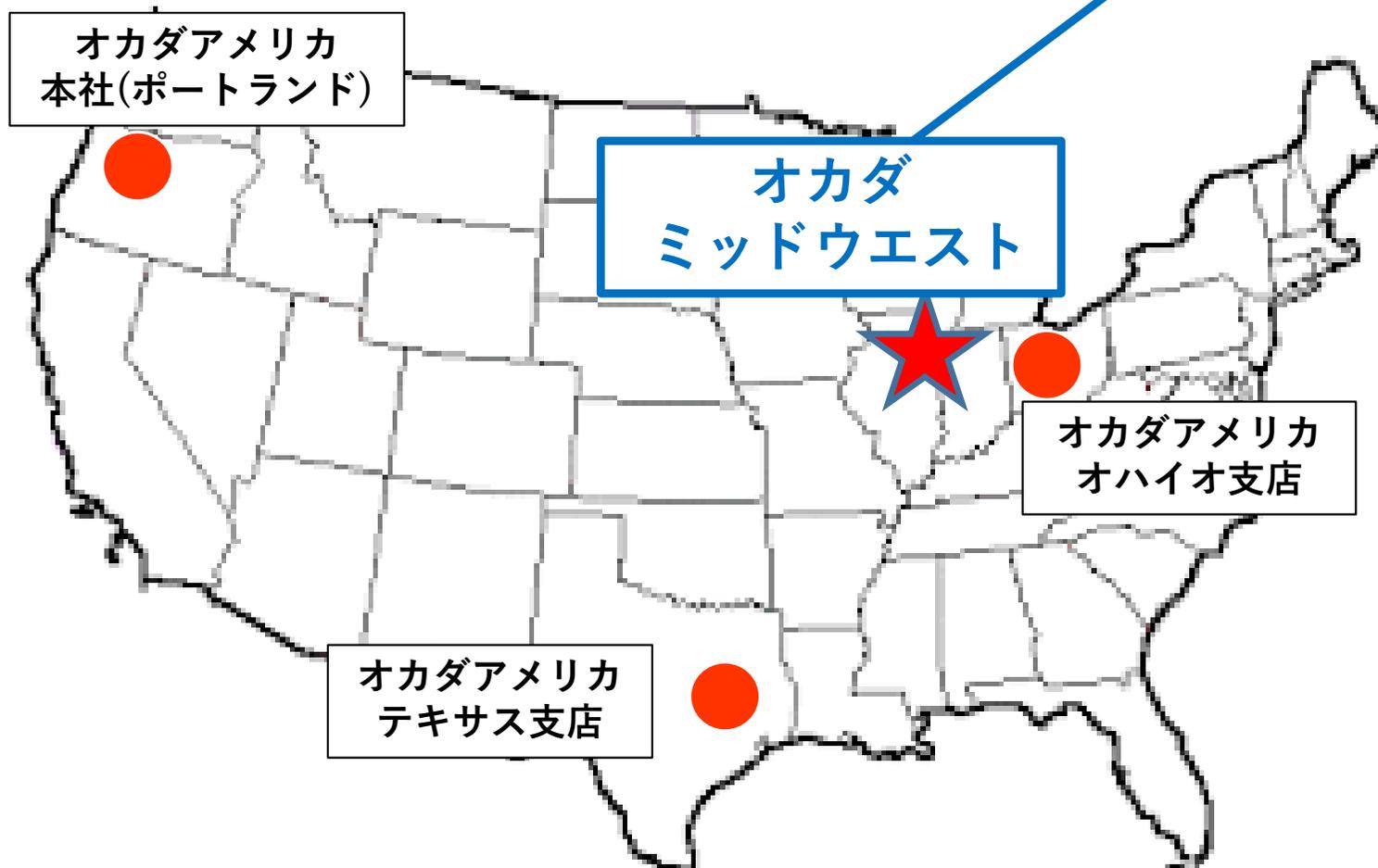
- 納入状況 / 現在、足羽川ダム（福井県）にてケーブルクレーン(2基)により打設工事施工中。このダムは豪雨防災のための洪水調整ダムで 2026年度の完成を目標とし、日本最大規模（ダム高、堤体積、洪水調節容量）の流水型ダムとなる。

- 北米の需要拡大に対応するため、本社・メンテナンス工場・ハブ機能を備えた倉庫を移転新設。

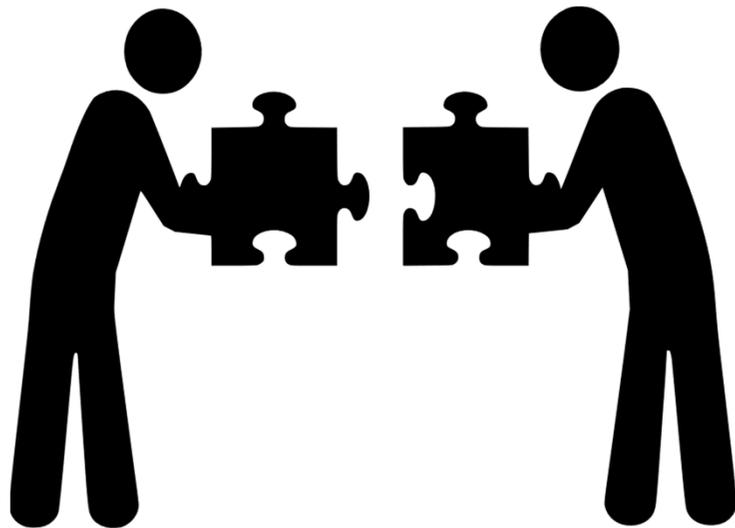


トピックス 北米での建機修理・販売・レンタル事業買収

- 2022年12月22日、イリノイ州シカゴのThoesen Tractor & Equipmentグループ3社から建機修理・販売・レンタル事業を買収。
- 3社の譲受会社としてオカダミッドウェストを設立。
- 3社合算 売上高 14,479千US\$ (1,954百万円)
経常利益 951千US\$ (128百万円)
(2021年度単純合算ベース、1US\$ = 135円で試算)



期待する統合効果



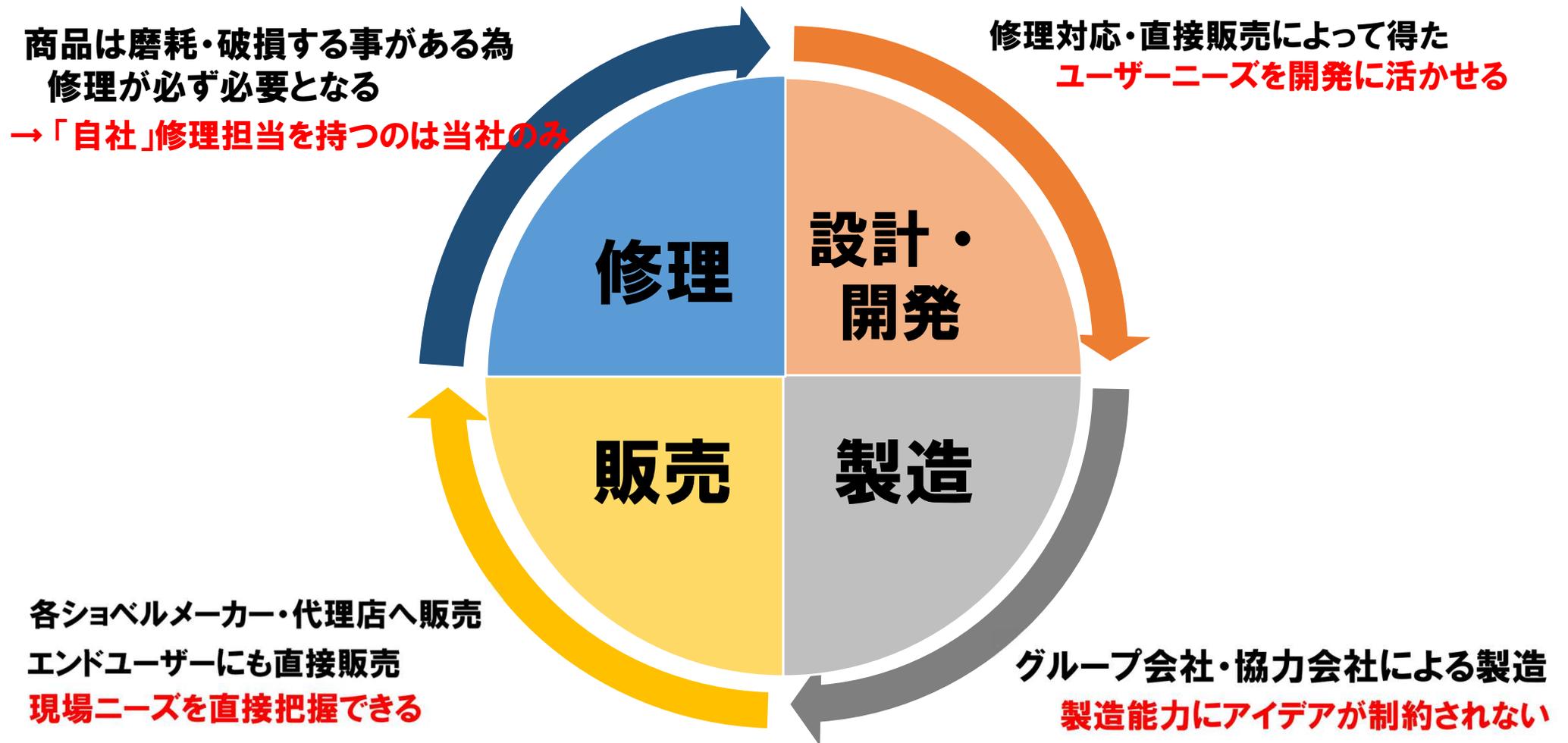
オカダミッドウェスト(旧Thoesen社グループ)とオカダアメリカの双方の強みの補強

- 本格的な自社修理サービス体制の構築と全米展開への足がかり
- シカゴ地域の解体アタッチメントエンドユーザー向け商圏の獲得

1. 会社概要／当社の歩み
2. 2023年3月期 第3四半期
業績概要と通期見通し
3. トピックス
- 4. 参考資料**

当社の強み

一気通貫の循環モデル



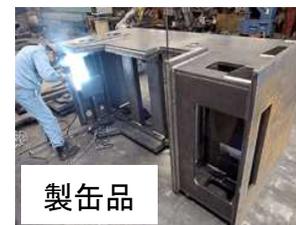


当社のこだわり

解体で特に**強度**が求められる「大割機」「鉄骨カッター」に
「**鋳鋼品(ちゅうこうひん)**」を使用

※「**鋳鋼品**」・・・特殊鋼を溶かして型枠に流し込み製造
繋ぎ目が無く、「**製缶品**」より**強度が高い**
自由に成型でき、デザイン性に優れる

↑ ↓
「**製缶品**」・・・鉄板を溶断し、溶接にて製造



シリンダーには**増速バルブ**を搭載し、**パワーとスピードを両立**

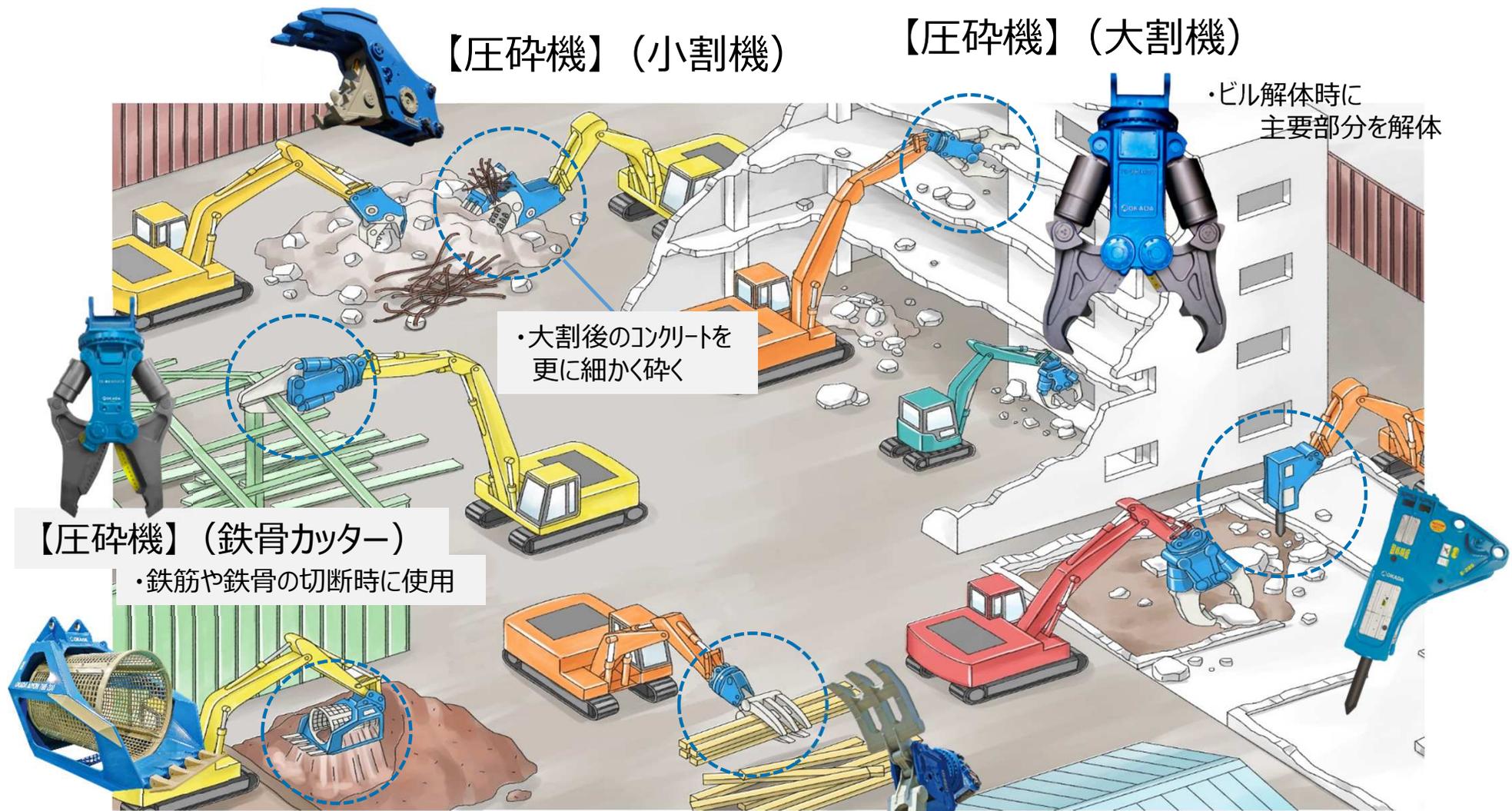
ウェッジアームの採用で**抜群の破砕力**を実現

閉じるにしたがってアームが張り出さず、
住宅密集地でも操作可能



商品用途（解体環境アタッチメント）

～国内外全メーカーのショベルに取付可能～



【圧砕機】（小割機）

【圧砕機】（大割機）

・ビル解体時に
主要部分を解体

・大割後のコンクリートを
更に細かく砕く

【圧砕機】（鉄骨カッター）

・鉄筋や鉄骨の切断時に使用

【環境アタッチメント（アマダス）】

・ショベルに負担を掛けず、
様々な混合物を選別／ふるい

【つかみ機】

・木造家屋解体やスクラップ集材、
災害時にも活躍する万能機

【ブレーカ】

・海外では主力、破砕力も抜群
・但し騒音が大い

商品用途（大型環境機械）

【中低速回転機】

【高速回転機】



- ・大きな丸太から破砕可能
- ・東日本大震災時にはカシキ処理で活躍

- ・木材を木片チップに切削
- ・チップはバイオマス発電等で活用

商品用途（林業機械・ケーブルクレーン）

【林業機械】



- ・森林にて木材を伐採
- ・枝払い、剪定、運搬までこなす

【発電所・ダム建設用 ケーブルクレーン等】

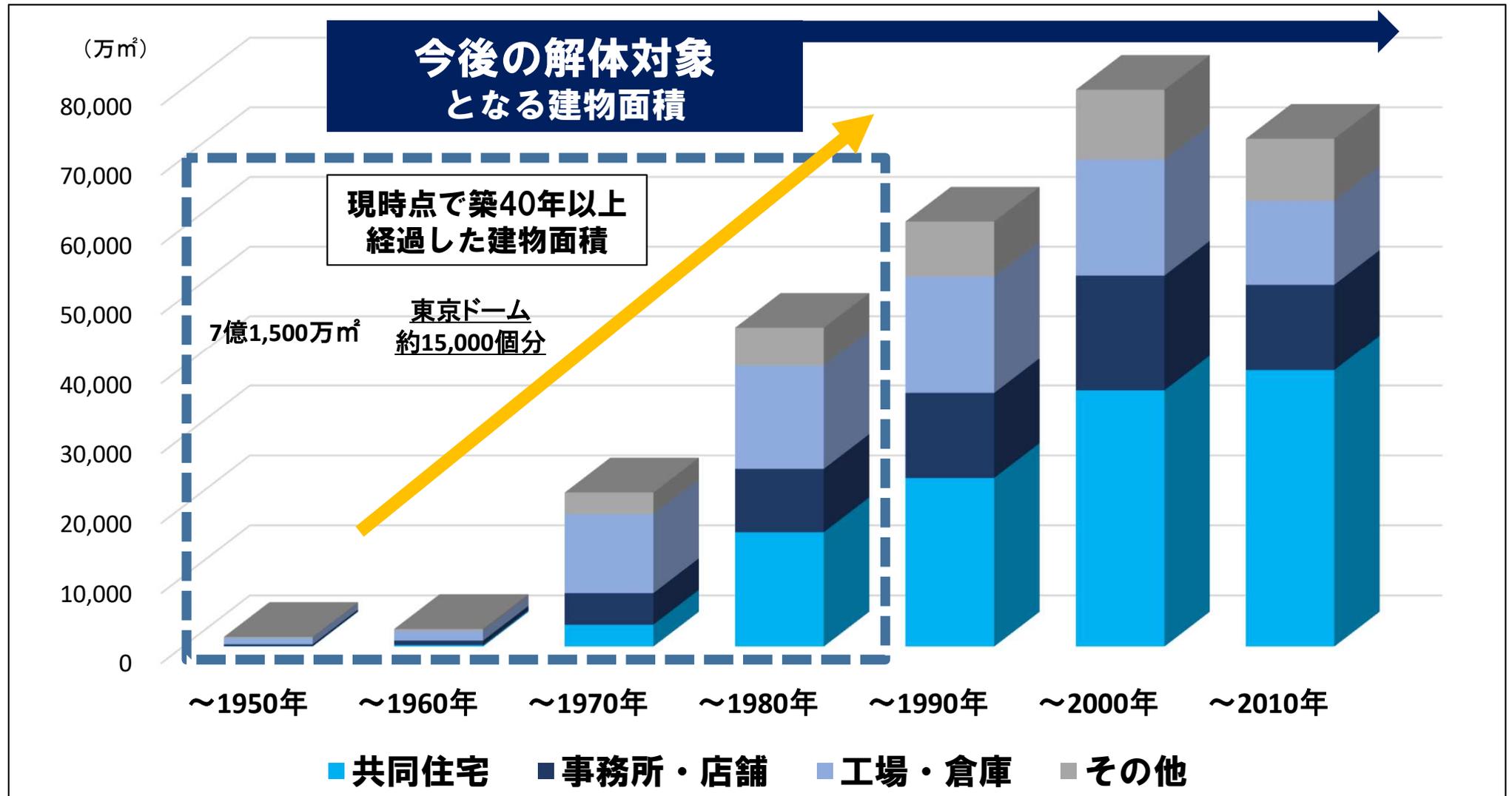


- ・道の無い山の斜面での生コンクリート・資材等の運搬に
- ・老朽化した水力発電所のパイプ交換工事に

国内解体市場ポテンシャル

非木造建物(コンクリート建物)の建築年代と建築面積

◆ 築40年以上の解体建物対象を見ると、解体需要はこれから本格化(毎年東京ドーム約1,500個分相当の面積が対象に)



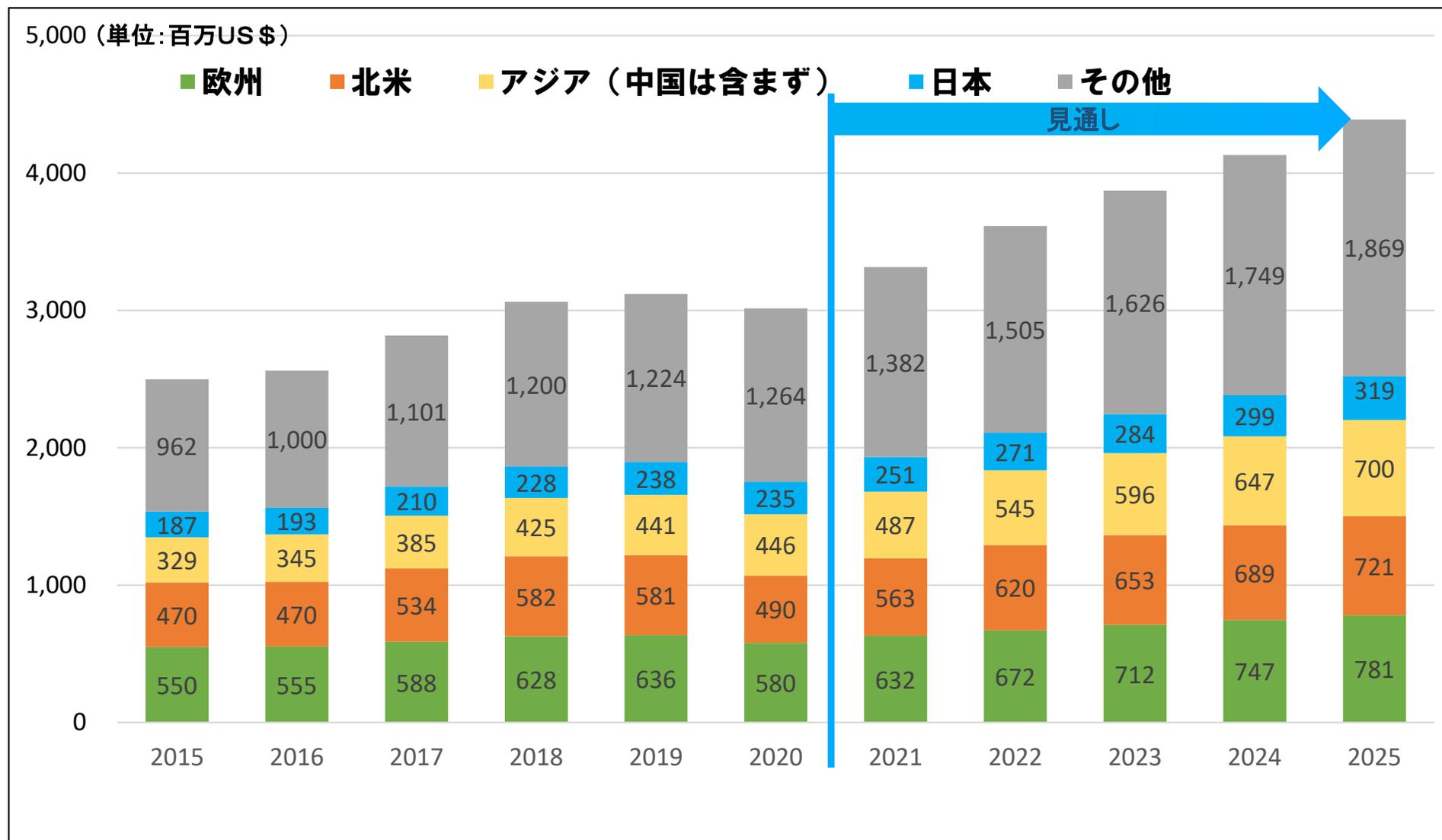
◆東京ドームの床面積を46,000㎡として換算

国土交通省「建築物ストック資料」より当社作成

グローバル市場の成長見通し

解体アタッチメント市場

- ◆注力市場の「米国」「欧州」「アジア」における2021/2025のCAGR(年平均成長率)は約7.0%
- ◆「日本」の2021/2025のCAGR(年平均成長率)も約6.2%



長期ビジョン「VISION30」

(2021年5月13日策定)

VISION30の骨子

VISION30 ステートメント

スローガン

人は**環境**をつくる

価値観

- 【社 風】 個人尊重・自由奔放・一体感のある社風
- 【ビジネス】 ユーザーに寄り添った商品サービスの提供
- 【社 会 性】 環境問題などの社会課題の解決につながる事業拡大

環境に流されずに**環境**づくりができる人材を育成し、
事業を通じて**環境**にやさしい社会の実現に貢献する。

VISION30 業績評価指標 (KPI)

トリプル
3
売上高 300億円以上
営業利益 30億円以上
時価総額 300億円以上

トリプル
10
売上高伸び率 10%以上
売上高営業利益率 10%以上
ROE 10%以上

VISION30 3つの戦略

人材戦略	<ul style="list-style-type: none"> ① 人づくり ② 人事制度 ③ 働き方改革 	人材の採用・育成・活用 実績・貢献を反映した公明正大な評価・報酬制度 働きやすい・働きたくなる・働きがいのある職場づくり
マーケット戦略	<ul style="list-style-type: none"> ① 国内戦略 ② 海外戦略 ③ 新規事業 	需要拡大に対応した一気通貫バリューチェーンの強化 米・欧・アジアの3拠点への商材・戦力投入による市場開拓 新技術応用（新解体工法・DX等）と戦略的M&Aの推進
経営基盤強化	<ul style="list-style-type: none"> ① CG体制 ② ハード・ウェア ③ ソフト・ウェア 	持続的成長を支えるガバナンス体制の構築 国内・海外の工場・営業拠点の整備（増設・新築） システムインフラの整備とDXによる業務改革・顧客対応力強化

3ヶ年計画（FY2022-2024）部門施策

マーケティングに寄与する生産能力と供給拡大に注力する

（★は、生産能力と製品・部品の供給力の向上に関する施策）

部門	施策	内容
生産	★協力サプライヤーとの紐帯強化	商材・部材の安定確保
	★アイオンテック朝霞工場の増産体制強化	人員確保、協力会社の拡大、生産設備増強
	★オカダNANSEIの生産性向上・原価管理の見直し	生産能力向上と原価低減の追求
	★ベトナム／油圧ブレーカ工場の量産移行	世界共通モデルの油圧ブレーカラインアップ強化
国内営業・サービス	★営業所兼整備工場のリニューアル	仙台営業所（22年4月）、札幌営業所（23年5月予定）により建機的大型化対応に目途
	販売価格改定の浸透	原材料価格や輸送コストによる原価アップに対応
	アタッチメント補償制度の継続	解体アタッチメント「TSシリーズ」の販売後2年間の損傷修理費用の補償によりユーザー安心度アップ
	オカダNANSEIと協業体制強化	営業・メンテナンスサービスのグループ連携を強化
海外	★オカダアメリカ本社移転拡張	主力地域の北米での倉庫・修理工場の機能拡大
	海外向け商材の充実	海外仕様モデルの開発・投入
	拠点機能の充実	海外拠点への人員戦力・商材の投入

サステナビリティへの取組

◆経営理念の「社会に存在価値ある会社」を目指して、マテリアリティ(重要課題)に取り組む

マテリアリティ(重要課題)とKPI

マテリアリティ	SDGs項目	コミットメント	KPI
カーボンニュートラルの実現	 	<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素社会の実現に向けて、エネルギー消費量の最少化、次世代再生可能エネルギーの利活用を図る。 解体現場及び林業、大型土木工事現場での当社製品利用におけるCO2排出について重要度が高いと認識し、電動化、高エネルギー効率化に向けた製品開発・改良の取り組みを推進する。 間接部門、生産工程でのCO2排出を削減する。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ内(スコープ I、II)CO2排出削減【海外販社を除く】 2050年に実質ゼロ 2030年に70%減(2018年比) スコープIII CO2排出削減への取組(仕組み構築とターゲット選定)
社会におけるリサイクルシステム支援	 	<ul style="list-style-type: none"> 資源の有効活用とリサイクルは少資源国では重要な課題であり、効率的なスクラップ&ビルドに資する。 解体現場の効率化に寄与し、併せて廃材の再資源化により循環型社会を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 2030年アタッチメント解体業務の生産性10%向上(当社従来自社製品2020年比) コンクリート等の建設廃材の再資源化率98%以上維持への寄与
山地・森林資源の保全と有効活用の実現	 	<ul style="list-style-type: none"> 林業の効率化に寄与する。 木材資源の有効活用に関与する。 建設困難地における資材物資の移動・搬入用の装置提供により、土地の有効活用を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 2030年林業関連機器の生産性10%向上(当社従来製品2030年比) 水力発電能力の維持への寄与 2.5億kwh/年(2030年まで)
働き方改革やダイバーシティ等の実現	 	<ul style="list-style-type: none"> 国内の生産人口減少への対応として、DX活用による生産性向上や自動化等に取り組む。 採用、人材育成、登用の仕組みと環境を整備することで誰もが働ける場所を提供する。 グループの協力会社においても労働/人権に配慮する。 働き方改革やダイバーシティ等の実現に向けたコーポレートガバナンス体制を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 社員幸福度測定の実施と幸福度の向上 女性社員比率13%(2021年)→25%(2030年) 女性取締役比率12.5%(2021年)→25%(2030年) 協力会社選定時の労働/人権配慮の実施

本資料に掲載されている計画、見通しに関する内容については、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した予想であり、リスクや不確定要素を含んでいます。

従いまして、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約、あるいは保証するものではありません。

(お問い合わせ先)
オカダアイオン株式会社
経営企画室

TEL 06-6576-1271 FAX 06-6576-1270

URL <http://www.aiyon.co.jp/>